

日本共産党 三郷市議団の 一 般 質 問



災害時には避難所となる 学校トイレの洋式化を早期に

深川 ともか
TEL 070-2209-7907

本市は学校トイレの洋式化を主に平成26～27年度にすすめましたが、まだまだ和式トイレが残る現状があります。

子どもたちは日常的に洋式を使用しています。学校トイレの洋式化率や洋式化の推進はどのような質問しました。

学校教育部長は「令和5年度末における校舎の洋式化率は市全体で71%まで上がる見込みである。(学校の)改修工事を行う際に

トイレの洋式化を検討したい」と答弁しました。

深川議員は災害時に地域の避難所となることから、学校トイレの洋式化を早期におこなうよう要望しました。

さらに学校トイレの床乾式化・個室への生理用品の設置を求めました。

その他に自転車用ヘルメット購入費用補助制度の実施、ファミリーシップ制度の実施などを求めました。



マイクロプラスチックによる 河川汚濁予防について

佐藤 ともひと
TEL 080-6851-1606

近年、海洋プラスチックゴミの問題が地球規模で深刻化している中で、5mm以下の微細なマイクロプラスチックは、海流に乗って世界中の海に拡散し、海洋生物のみならず、人体にも大きな影響をもたらす危険性が懸念されている。この原因を詳細に解明していくには、流出経路・到達地を予測する必要があると国立研究開発法人海洋研究開発機構は発表しているが、①例えば、三郷市では、大場川河川の汚濁予防について、どのように対応しているか？建設部長に伺う。

①河川の浮遊ゴミ問題は、近隣、自治体との連携が必要である。継続して、回収ネットやパトロールにて順次回収して行きたい。

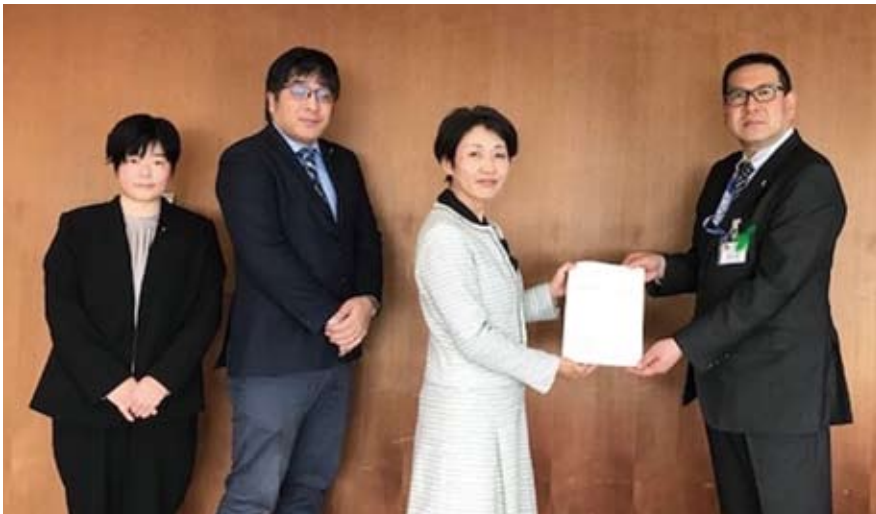
②先進的な取り組みとして、SDGs / CSR / ISO14001『シービン』と呼ばれる装置で自然回収ができるものがある有効ではないか？導入について再度、伺う。

②導入については、引き続き河川管理者である埼玉県河川事務所との連携し調査研究して行きたい。

その他、労働問題、交通問題など。

三郷市議団

市長に物価高とうの 対策のための要望書を提出



要望書は渡辺健副市長（右）に手渡しました

4月25日(火) 木津雅晟市長に緊急要望書を提出しました。新型コロナウイルス感染症拡大が収束しつつあるように見えますが、景気の低迷、生活の困窮が長期に及んでいます。物価や燃料費等の高騰も止まることがありません。こうした中、政府は、物価高騰に対応した「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金)」を交付することとしています。

三郷市においても、低所得者世帯の支援のほかに、推奨事業の財源として約3億円が交付されることになりました。議員団はこうした財源を活用し市民の暮らしと営業を応援する事業を実施するよう緊急に要望書を提出いたしました。

小中学校給食の無償化を 多子世帯から



工藤 ちか子
TEL (FAX) 958-8821

2014年に成立した「まち・ひと・しごと創生法」は、人口減少問題という課題に官民をあげて取り組むとし、地方自治体はこれを受けて「地方版総合戦略」を策定しました。本市においても三郷市総合戦略計画を策定し、合計特殊出生率(生涯で出産する比率)を2019年までに1.6としていましたが、2020年で1.42にとどまっており、少子化人口減少に歯止めがかかっていません。

工藤議員は、自治体の子育て支援策はまったなしの課題であり、あらゆる施策

を講じていかなければならないと指摘したうえで、学校給食費を含む教育費の負担軽減をただちに実行すべきだと「第2子・3子以降の給食費無償化」を提案しました。

市長はこれまでの給食費補助制度の実施を述べるとどまりましたが、実施した場合の財源は2人以降で約1億4千万円、3人以降では約2千万円と答弁しました。

他に共同生活援助の増設を、熱中症への緊急支援など。

